

茨交バス物語

バスのレシピ本

菊地周



recipe 14

ディーラーの話

ボディーがいすず、内部は日野!?

ディーラーは、日産、日野、三菱、いすずなどがある。
特徴は、いすずの車体を使っているバスが多く、内部の
仕様は日野製のものが出来上がっている。
車体と内部が別々のディーラーになっているのいい。



recipe 1

待望の復刻版登場

25年ぶりに復活「赤バス」

昭和40年代に走っていた通称「赤バス」。
2013年に、当時の塗装図面が発見され、
塗装番号などもわかり、当時のデザインと
カラーを復刻することができた。



recipe 2

ナンバーの違い 200

ナンバーは年式で移行

22番のバスは、
1970年のナンバー
2桁化改正以降の
製造バス。

200番のバスは、
1998年のナンバー
3桁化改正以降の製
造バス。



と 22

recipe 13

循環バス 地域に便利な環境

駅、公共施設、病院など 地元のアクセスに活躍

水戸市内循環バスをはじめ、他市町村で運行されている循環バス。低料金で利用しやすく、公共施設など生活に密接なアクセスを中心に、地元住民の大切な足となっている。



水戸市内循環バス



ひたちなか市

スマイルあおぞらバス



recipe 12

新車バス

久しぶりの新車バス

久しぶりの日野自動車製の新車バス登場。ほとんど日野自動車製の中で ISUZU の注目の 1 台もある。内部仕様は、座席のシートの色が変わったバスや、非常停止ボタンがついたバスもある。殆どは従来通り、機能もそのままが多い。

日野自動車製

ISUZU 製



recipe 3

鮮やかな 観光バス

行きたい所へ快適に

学校行事や社員旅行、企画旅行、また子供会や慶弔時などに利用できる。多彩なバスツアーもあり、目的に合わせた大活躍のバス。



recipe 4

入口の違い

後ろ乗りと中乗り

中乗りになって機能が充実

後ろ乗りバスは、階段もあり開口部が狭い。
中乗りが増え、福祉バスとして、バリアフリーや車椅子対応の機能が充実した。



recipe 11

除籍バス お疲れ様の 廃車バス

これから解体します

廃車が決まり、解体されるバスたちが、各営業所の奥の方で待機している。
地域の人々の交通手段として活躍したバスたちも、お疲れ様で解体場へ。

ISUZU 製



日野自動車製



日野自動車製



日野自動車製

転属バス配属営業所から引越し

営業所から営業所への引越し

営業所間でバスのトレードをする。例えば、車体の大きさ、年式、車体数の増減、など条件を合わせる。また、ラッピングバスは宣伝活動で地域を変えるためトレードする。

勝田営業所から
常陸大宮営業所



茨大前営業所から
浜田営業所



那珂湊営業所から
茨大前営業所



シフトタイプの違い オートマとマニュアル

マニュアルは大型車体、
オートマチックは中型車や小型車

大型車両にマニュアルが使われるのは、乗客数の重量差の変動に対応しやすい機能があるから。一人でも満席状態でも、マニュアルなら走行万全。



マニュアル

オートマチック



recipe 6

行先表示の違い

方向幕とデジタル

メンテナンス作業がしやすい デジタル表示

方向幕は、モーターやギア駆動部分のメンテナンスコストが高く、また廃棄焼却時に有害ガスがでる。方向幕からオレンジ LED デジタル表示に移行することで、メンテナンスもしやすくコストも少なくできるため、順次移行している。



recipe 9

移籍バス

カラーを変えて再出発

管理委託され新塗装

バス会社間でのやり取りを。車体管理を委託され、茨交バスのカラーに塗替え再出発する。実際に、違うバス会社のバスがけっこうある。



都営バスの文字が見える。また東武バスもある。



元 都営バス

recipe 8

バリアフリー

暮らしに寄り添う多様な使い方

使う人に合わせて、様々な取組み。ノンステップやワンステップ、車椅子やベビーカーなど暮らしに適した福祉車両がある。



福祉車両いろいろ

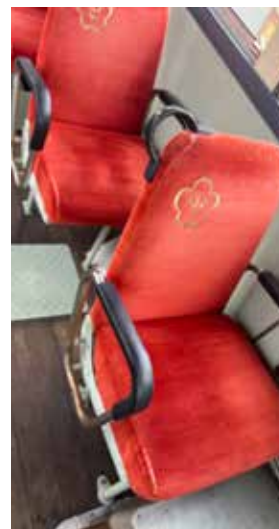
recipe 7

レアバス

見られたらラッキー

貴重な希少バス

梅模様シート



運行本数が少なく、22ナンバーであり、座席シートが梅模様の貴重な存在である。これに乗れたら、ラッキー。



GO TO トラベル



多方面に便利なアクセス

成田空港、羽田空港、茨城空港へも直行。

多様なルートで、楽しみも多彩。

高速バスで出かけよう

